

和牛の現状について

和牛について

- 和牛は我が国固有のものであり、改良機関や農家の長年の努力によって改良されてきたもので、我が国の財産である。
- 和牛には4品種があり、以下の特徴を備えているものが、血統登録されている。

● 黒毛和種



古くから飼われていた牛で小格で前勝ちの体型。1918～20年に各県で登録が開始され、44年に固定した品種と結論。48年に全国和牛登録協会が発足し、登録は一元的に実施。被毛色は黒褐単色。

肉質に優れ「霜降り肉」を生産する。

	体高	体重
雄	147cm	720kg
雌	130cm	450kg

● 褐毛和種



熊本では1923年に標準体型が作成され登録が開始。放牧飼養に適する牛として改良。

高知では、1939年から登録を開始。

ともに44年に「褐毛和種」として認定。48年全国和牛登録協会に登録。51年に日本あか牛登録協会が発足(熊本)。

被毛色は黄褐色から赤褐色。耐暑性に優れ、粗飼料利用性も高い。

	(熊本系)体高	体重
雄	153cm	1,000kg
雌	134cm	600kg

● 日本短角種



東北地方北部原産。1957年に審査標準を統一し、日本短角種として登録を一元化。登録は日本短角登録協会が実施。被毛色は濃褐色。

肉質は肉のきめがあら。粗飼料の利用効率が高いことが特徴で、北日本の気候風土に適し、放牧適正が高い。

	体高	体重
雄	145cm	1,000kg
雌	130cm	580kg

● 無角和種



1924年に登録が開始され、44年に無角和種として認定されて全国和牛登録協会が登録を実施。被毛色は黒色で黒毛和種より黒味が強い。

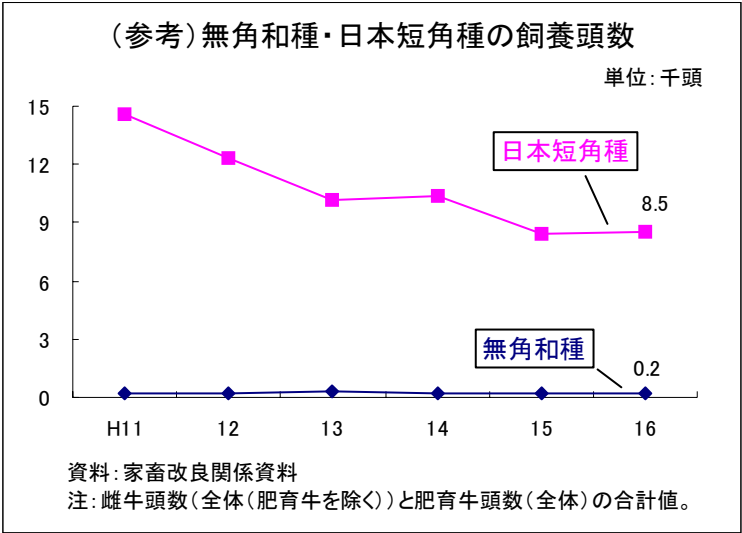
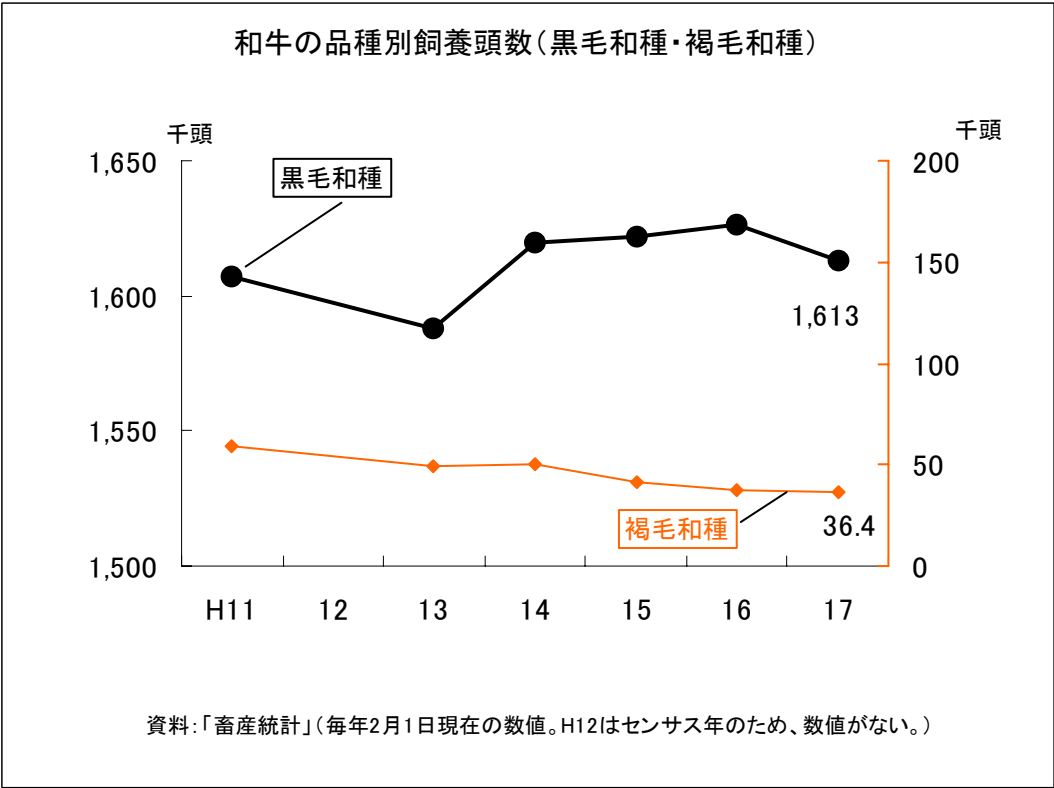
肉質の面では肉のきめなどが黒毛和種より劣る。

	体高	体重
雄	137cm	800kg
雌	122cm	450kg

[参考]家畜において固定種と考えられる条件
(1)同一の血統起源であること。
(2)血量が一定水準以上に達していること。
(3)特定の外貌上の特徴を共有する集団であること。
(4)体格の大きさにおいて斉一性をもっていること。
(5)経済的能力において斉一性をもっていること。
((社)全国和牛登録協会「新・和牛百科図説」より)

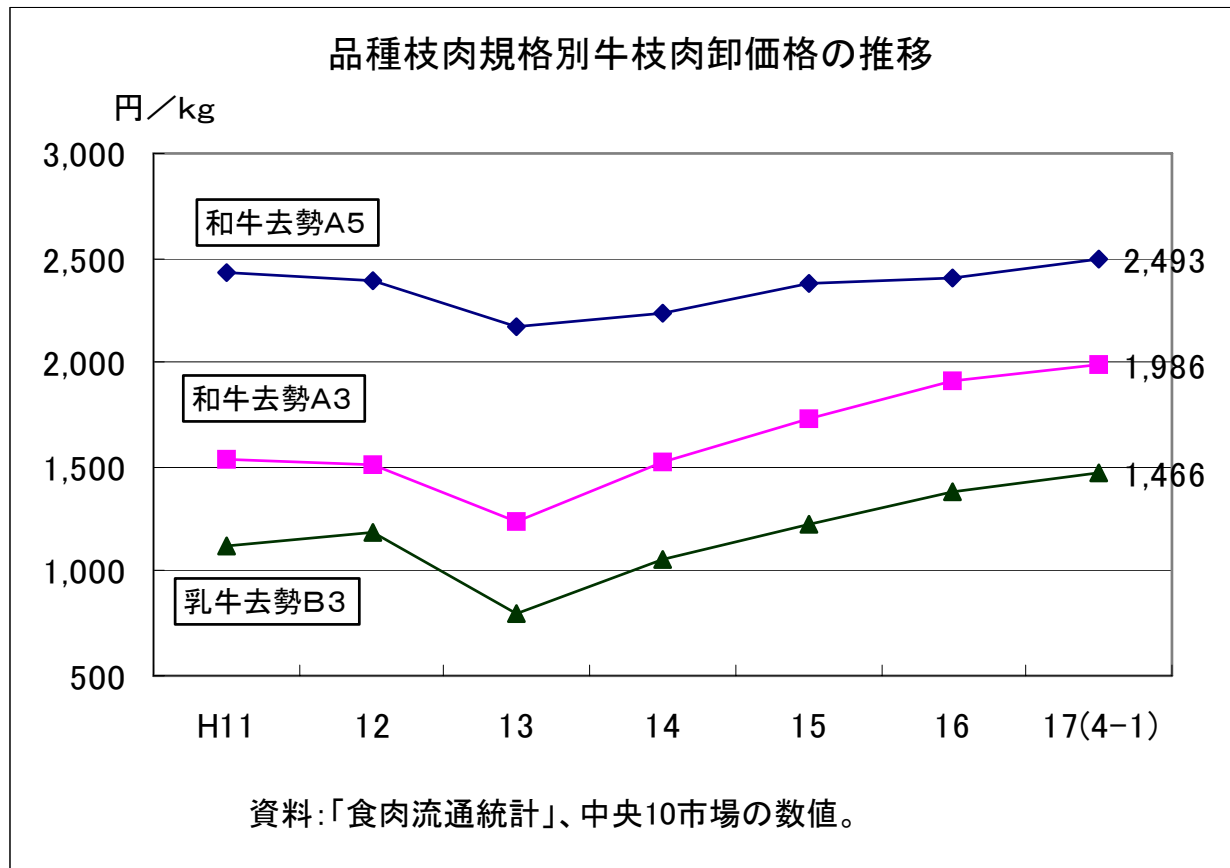
飼養頭数の推移

○和牛の飼養頭数は、14年は13年9月のBSE発生により出荷が停滞したこと等の影響によりH14わずかに増加したものの、近年は緩やかな減少傾向で推移。



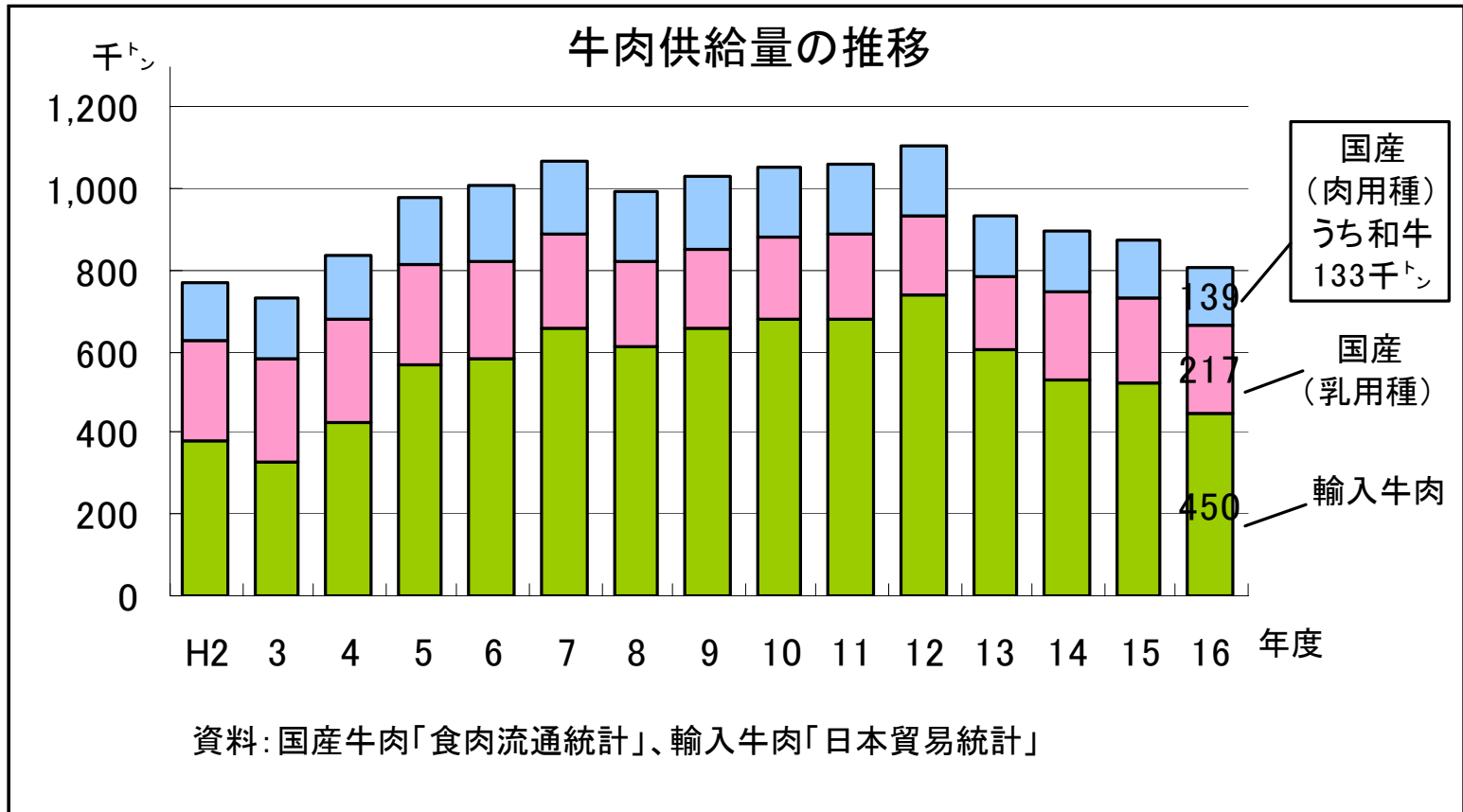
品種別枝肉規格別牛枝肉卸売価格の推移

○国内において和牛は、優れた肉質等のため、他の品種に比べ高い価格で取引されており、高い評価を受けている。



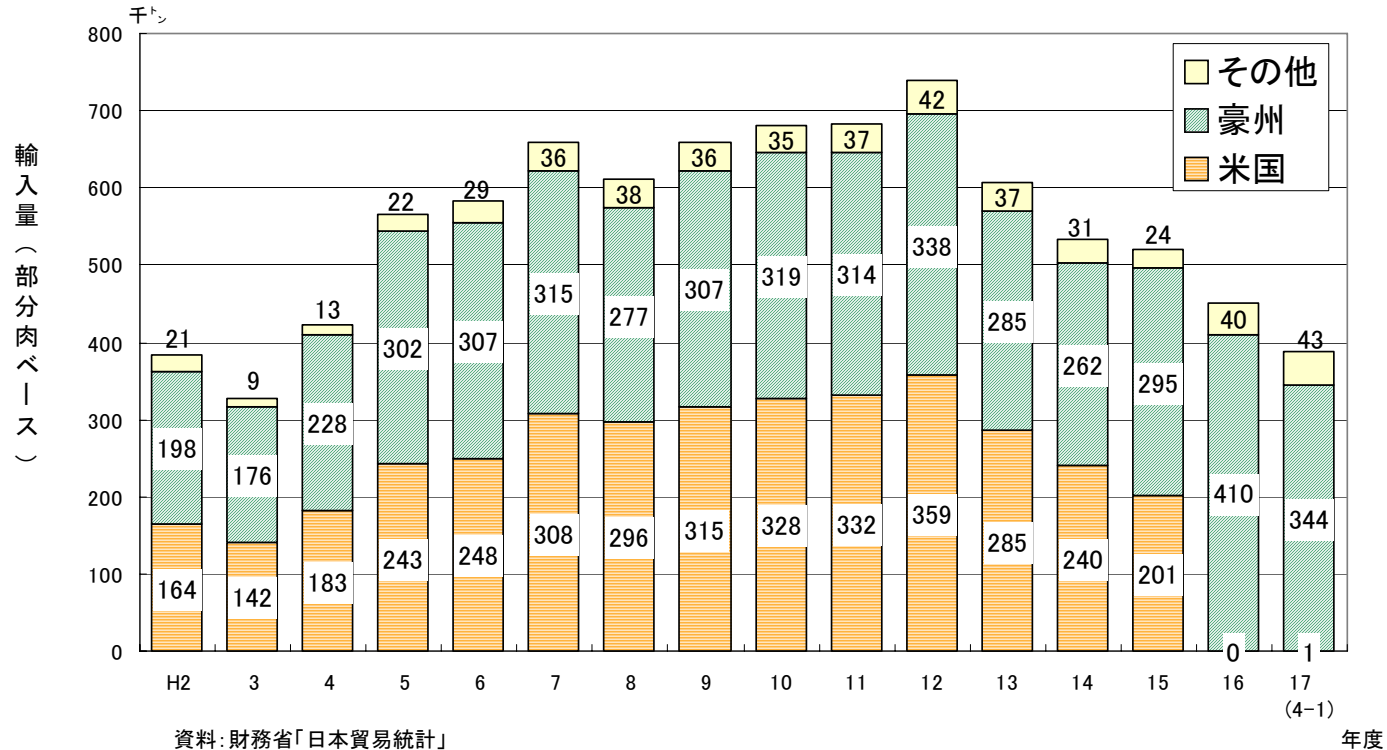
牛肉供給量の推移

- 国内に供給されている牛肉の約6割は輸入牛肉。
- 国産牛肉のうち和牛肉のシェアは約15%程度。



牛肉の輸出入量の推移

○牛肉の輸入量は、14年度は、国内初のBSE発生により国内消費量が減少したことから、減少。15年度以降は、米国でのBSE発生に伴う輸入停止措置の影響により減少（豪州産牛肉については増加）。



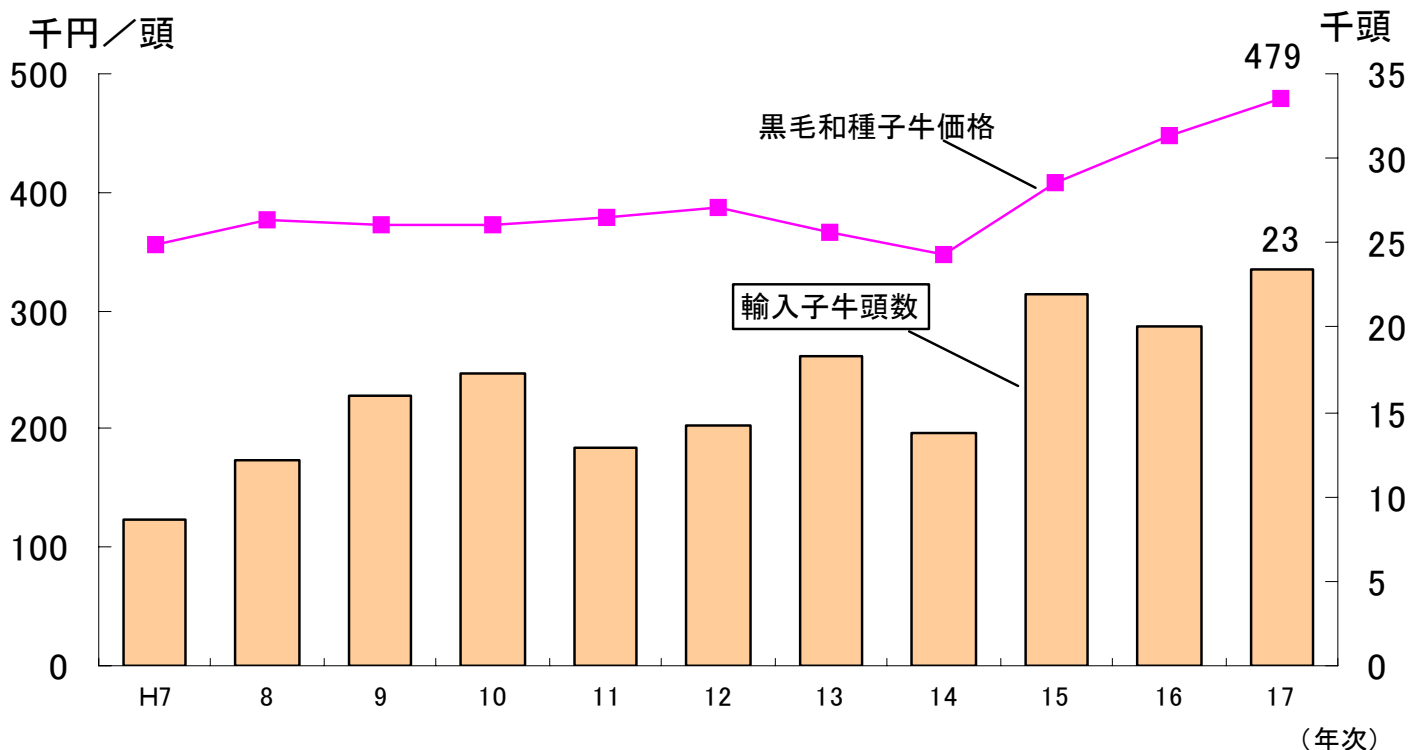
○牛肉の輸出は、我が国において口蹄疫(H12)・BSE(H13)が発生したことから、米国等で輸入が禁止。17年12月に米国及びカナダで日本産牛肉の輸入が解禁。現在、香港、台湾、EU等と輸出再開に向け協議中。

(BSEによる禁止前の輸出量は増加傾向で推移してきたが、平常年の数量は100トンを未滿。)

生体牛の輸入について

- 生体牛の輸入のほとんどが、肥育もと牛。
- また、国内の肥育もと牛価格が高い場合、輸入頭数が増加する傾向。

国内肉用子牛価格と子牛輸入頭数の関係



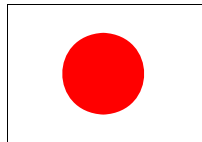
資料：(独)農畜産業振興機構「全国の子牛取引情報」、動物検疫所業務統計

注：動物検疫の検疫枠の制限のため、近年は肥育もと牛の輸入は、2万2～3千頭程度が上限(H17実績2万3千頭)。

遺伝資源の輸出について

- 我が国からの和牛の遺伝資源は、
H9～10年の間に生体128頭及び精液1万3千本が米国へ輸出。
- 11年度以降は、和牛の遺伝資源の輸出の実績はない。
- 米国に輸出された遺伝資源が増殖され、豪州へ輸出。

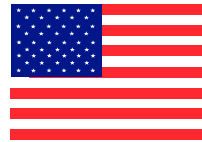
和牛遺伝資源の海外での増殖のイメージ



日本



生体



米国

○戻し交配による、
ほぼ純粋な和牛の
生産

○和牛同士の交配に
よる、和牛の生産

○種雄牛の能力検定
の実施

○輸出用の精液と
受精卵の生産

精液
受精卵

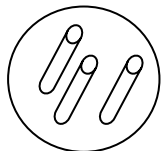


豪州

○戻し交配による、ほぼ
純粋な和牛の生産

○和牛の精液を外国種
の雌牛に交配して、F1
を生産

精液



○和牛の精液を外国
種の雌牛に交配して、
F1を生産